

予算特別 委員会



■ 総括質疑 令和6年10月4日

予算特別委員会では、令和6年度補正予算について、総括質疑が行われ、各分科会においても審査がなされました。

主査報告後、採決が行われ、原案どおり可決すべきと決しました。

委員会の役割とは？

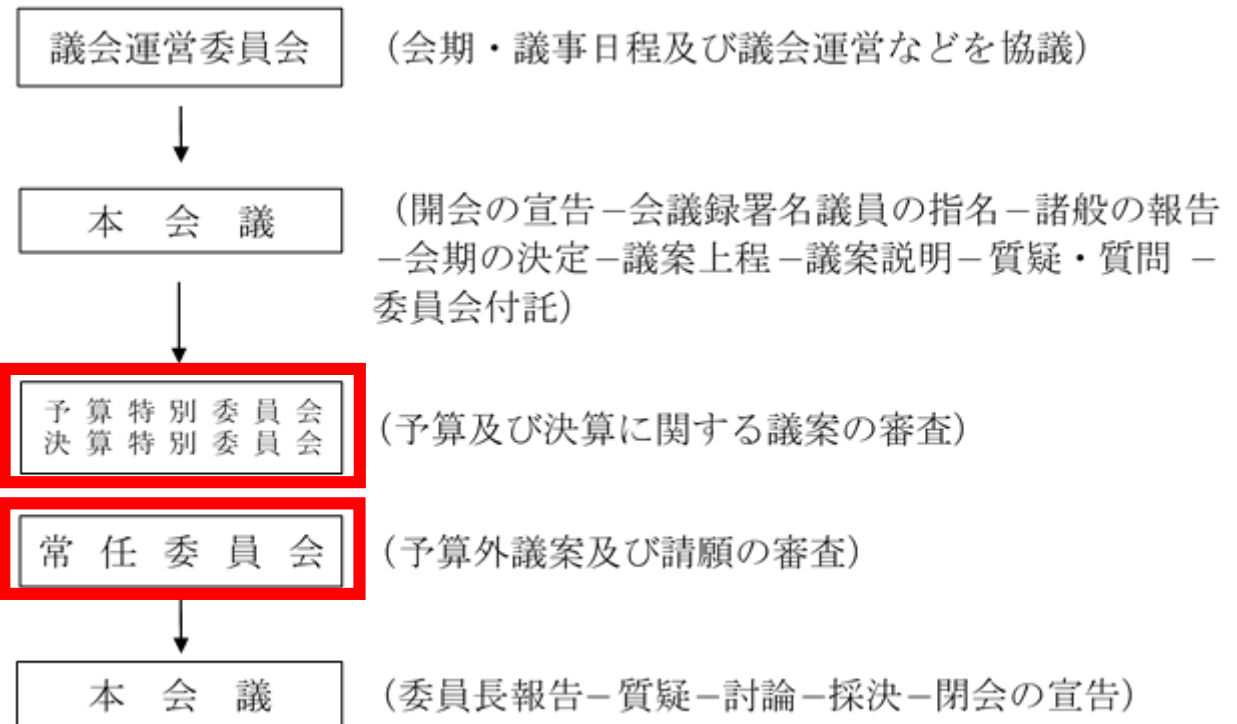
委員会について

議会では、主に知事から提出された議案の審査を行います。議案の内容は多岐にわたっており、予算・決算に関するものから条例及び条例外に関するものまであります。

そこで、本会議において最終的な判断を下す前に、所管する委員会に議案の審査を託し、委員会において審査を行います。

その後、本会議において、各委員会の委員長より審査結果の報告が行われ、議案の採決が行われます。

例：予算特別委員会→予算に関する議案の審査を行う。
決算特別委員会→決算に関する議案の審査を行う。
常任委員会→条例及び条例外議案に関する審査を行う。



質疑 税務総合管理システム改修費について

予算内訳及び改修の概要はどうか。

総務部長 改修の主な内容は3つであり、宿泊税サブシステム構築に約6,200万円、共通サブシステムへの機能追加に約4,400万円、外部システムとの連携テストに約200万円を計上している と回答

現行の税務総合管理システムの中に、新たな税目として宿泊税サブシステムを構築する経費として、約6,200万円を、収納管理など3つの共通サブシステムに、宿泊税の導入に伴う入力画面の構築や帳票作成などの機能を新たに追加する経費として、約4,400万円を、地方税共同機構、指定金融機関、収納代行会社など、外部の機関が運用するシステムとの連携テストに要する経費として約200万円を計上している。



録画

その他の質疑 予算編成について/
自然災害避難支援アプリ導入費について/
地域ポイント等導入支援費について/
電子処方箋活用・普及促進費について/
畜産生産資材価格高騰対策費について



遠藤隼人委員
(自民)



議員名簿



質疑 子ども食堂運営支援費について

「旅行に行けない子供に遠出体験を提供したいが、バス代が高く捻出できない」、「食材保管のため冷蔵庫が必要」、「学習支援の支援者に謝礼が払えず無償で協力してもらっている」との声を現場から聞いている。

貸切バスの公示運賃が改定され、本年8月分消費者物価指数では、家庭用耐久財が前年同月比7.7%上昇等、物価高の影響を受けている。子ども食堂p運営支援費でバス代等を支援できるか。

保健福祉部長 食材等子ども食堂の運営に直接的に要する経費を補助対象とする と回答

子ども食堂の運営に当たって直接的に要する食材購入費、光熱水費、消耗品費等の経費を対象としており、冷蔵庫等の物品購入に関しては、一部条件を付した上で対象とすることを想定している。

遠出体験のためのバス代や学習支援者の謝礼については想定していないが、食材を中心とした負担軽減を図ることにより、全体経費の中でバス代等の経費の捻出につながると考えている。



録画

その他の質疑 税務総合管理システム改修費について／自然災害避難支援アプリ導入費について／地域ポイント等導入支援費について

さとう道昭委員 (自民)



議員名簿

質疑 宿泊税増設に伴う税務総合管理システム改修費について

大崎市民に独自のアンケート調査を行った結果、宿泊税に対する理解度が低い結果だと分かった。観光促進税として様々な方法があるのに、宿泊税にこだわり、県民には当該税ありきという姿勢にしか映っていないと考えるがどうか。

なお、富士河口湖町では、遊漁税を徴収しているなど多様な財源確保により観光振興を図っている。

知事 財源ありきという捉え方をされるような進め方をしたことについては適切ではなかった と回答

今思えば、財源ありきという捉え方をされるような進め方をしたことについては適切ではなかった。まずは何をすれば良いのか、事業者に話をした上で、どれぐらいの財源が必要なのか、また、財源をどう活用すれば良いのかということ、諮るべきであったと考えている。

他の自治体の進め方に倣った形だが、今は、それを踏襲すれば良いということではないと考えているところである。



録画

その他の質疑 現在の県内における経済活動の課題について／電子処方箋活用・普及促進費について



佐藤仁一委員 (県民の声)



議員名簿

質疑 宿泊税導入について

4病院の問題や宿泊税の問題のようなやり方に対して、非難がある。県政は異常な状態である。宮城県の財政は良い。宿泊税は宿泊事業者の理解を得ないうちはやめるべきだがいかがか。

知事 真摯に耳を傾けながら、県政を進めてまいりたい と回答

そのような声に、真摯に耳を傾けながら、県政を進めてまいりたいと考えている。



その他の質疑 養殖業環境変動緊急対策費について／自然災害避難支援アプリ導入費及び地域ポイント等導入支援費について



三浦一敏委員
(共産)



議員名簿



佐々木賢司委員
(自民)



議員名簿

質疑 河川等災害関連対策費について

名蓋川を含む鳴瀬川の災害関連対策の状況についての見解はどうか。

土木部長 災害関連事業の早期完成を図るとともに、特定都市河川の指定も含め、流域治水をより一層推進していく と回答

渋井川については、来年度の完成に向け、大規模特定河川事業により、水門及び排水機場の整備を進めているほか、上流部の堤防強化にも取り組んでいる。

また、名蓋川については、令和4年7月豪雨の洪水に対応できるよう、令和8年度の完成に向け、災害復旧助成事業により、多田川合流点から4.1km区間の築堤、掘削工事を鋭意進めている。

さらに、名蓋川を含む多田川流域については、現在、国や大崎市、加美町等と連携しながら、流域治水の実効性を高めるため、特定都市河川の指定に向けた検討を進めている。

県としては、沿川に住んでいる方が安全に安心して暮らせるよう、災害関連事業の早期完成を図るとともに、特定都市河川の指定も含め、関係者と緊密に連携しながら、流域治水をより一層推進していく。



その他の質疑 自然災害避難支援アプリ導入費について／地域ポイント等導入支援費について／県立学校施設整備費について



質疑 自然災害避難支援アプリ導入費について

今回のアプリ導入人数の目標はどうか。また、目標を達成した場合の避難支援効果や意義についてはどうか。

復興・危機管理部長 県内人口の50%に相当する人数を目指しており、本アプリの導入により、住民の迅速な避難行動や避難所運営の円滑化につながる と回答

今後5年間で、県内人口の50%に相当する人数を目指すことを目標としている。
この県内人口には、乳幼児等やスマートフォンを持っていない方も含まれるため、実際には目標である50%以上の避難支援効果があるものと考えている。
本アプリを多くの方々に導入いただくことにより、住民の迅速な避難行動や避難所運営の円滑化につながり、より手厚い支援が実現できるものと考えている。

伊藤和博委員
(公明)



議員名簿



録画

その他の質疑 地域ポイント等導入支援費について

質疑 生活困窮世帯支援費について

市町村ごとに支援金や基準等が異なるのは、住民間不信を引き出す要因になるのではないか。

保健福祉部長 各市町村が行う支援事業を後押ししていきたい と回答

依然として、物価水準は高止まりしていることから、生活に困窮されている方々への支援の必要性は高いと考えている。
県としては、本事業の実施を通じ、生活困窮世帯への独自支援を検討する市町村を強く後押ししてまいりたい。



熊谷義彦委員
(立無ク)



議員名簿



録画

その他の質疑 税務総合管理システム改修費に関連して

質疑 県立学校施設整備費について

少子化の進展に伴い生徒数が減少する中、第3期県立高校将来構想により、公立高校の再編が進められてきたが、今後は高校の統廃合だけではなく、生徒目線に立った魅力ある高校を整備していくためにもidealスクールの更なる整備も選択肢の1つとして検討していくべきである。各圏域への設置の方向性も含め所見はどうか。

教育長 他圏域に設置することについて、県立高等学校将来構想審議会において、検討していく予定としている と回答

idealスクールについては、他の地域においても同様のニーズがあるものと考えており、idealスクールの機能を持った学校を他の圏域に設置することについて、県立高等学校将来構想審議会において検討していく予定としている。

県教育委員会としては、令和9年度のidealスクールの開設に向けて、中学生や保護者等への周知のほか、教育内容等を詳細に検討するなど、しっかりと準備を進めていくとともに、魅力ある県立高校の在り方について様々な観点から検討を進めていく。



吉川寛康委員
(21世紀ク)



議員名簿



質疑 生活困窮世帯支援費について

物価高騰の影響から生活者を守るために、この事業の活用と速やかな対応が重要となる。当局は強く各自治体に働きかけるべきと考えるがどうか。

保健福祉部長 多くの市町村に生活困窮世帯への支援に取り組んでもらえるよう、機会を捉えてしっかり働きかけていきたい と回答

本事業は生活困窮世帯への支援に取り組む市町村の後押しを行うため実施するもの。そのため、多くの市町村に生活困窮世帯への支援に取り組んでもらえるよう、機会を捉えてしっかり働きかけていきたい。

小野寺健委員
(維新)



議員名簿

